

22

31

2022

2022

1

谷にいて人の人

10月10日 谷にいて人の人

谷にいて人の人

光晴師のお宅へ最初に伺ったのは同姓の

金子喬夫君の好意によりてである

のほくは現代詩人の名も作品もほとんど知ら

ずくは手紙に一文庫本の大手拓次に心

ひかれて詩らしきものを大学ノートに書い

ていたので現代詩の頂点に立脚人に逢ゆせ

るやろうと言う心積りだのかも知れない

らほくは木下奎太郎や水原秋桜子などが業立

った独協高校で小鏡流の研究家の村松定孝

先生に国語を学んだがその影響もあるのか

く密かに短歌や俳句を作っていたから大学

に入ってからほく馬酔木うに句を投稿し

りていたから金子君とアールバイト先

天口合い原形に引張り込ませたか

たう今だに俳句の世界にとまらぬか

も知らない金子君もほくも法政の学生だ